

## 製品安全データシート

作成日 2010年 3月 11日 (初版)

改訂日 2014年 7月 16日 (第3版)

## 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称 : セレクト乳剤 (クレトジム乳剤)  
 会社名 : アリスタ ライフサイエンス株式会社  
 住所 : 東京都中央区明石町 8 番 1 号  
 担当部門 : 日本/中・東欧事業部門 MSDS 担当  
 電話番号 : 03-3547-4673  
 FAX 番号 : 03-3547-4695  
 整理番号 : ALH02-22577-2  
 推奨用途及び使用上の制限 : 農業用除草剤

## 2. 危険有害性の要約

## GHS 分類

物理化学的危険性	: 引火性液体	区分 3
	自然発火性液体	区分外
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応性可燃性化学品	区分外
	人健康有害性	: 急性毒性 (経口)
	急性毒性 (経皮)	区分外
	急性毒性 (吸入: ミスト)	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2A
	皮膚感作性	区分外
	発がん性	区分 2
	特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	区分 2 (血液、眼)
	特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	区分 2 (血液、眼、鼻、 中枢神経系、肺)
環境有害性	: 水生環境急性有害性	区分 3
	水生環境慢性有害性	区分 2

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

## GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル:



**セレクト乳剤**  
**アリスタ ライフサイエンス株式会社**

注意喚起	: 警告
危険有害性情報	: 可燃性液体 飲み込むと有害の恐れ 皮膚刺激 強い眼刺激 発がん性の恐れ 血液、眼の障害の恐れ 長期にわたる又は反復ばく露による臓器の障害の恐れ（血液、眼、中枢神経系、肺） 水生生物に有害 長期的影響により水生生物に毒性
注意書き	: <b>【安全対策】</b> 使用前に取扱説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。 ゴーグル型保護メガネ又は側板付メガネ、不浸透性手袋、農薬用マスク、保護衣を着用すること。 指定された個人用保護具を使用すること。 容器を密閉しておくこと。 ミスト、蒸気、スプレーを吸引しないこと。 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。 容器を接地させること。アースをとること。 防塵型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 火花を発生しない工具を使用すること。 必要な時以外は環境への放出を避けること。 取扱い後はよく手を洗うこと。 <b>【応急処置】</b> 暴露又は暴露の懸念がある場合： 医師の診断、手当てを受けること。 皮膚又は髪に付着した場合： 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ、取り除き、皮膚は多量の水と石鹼で洗うこと。髪を流水、シャワーで洗うこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。 取扱った後、手を洗うこと。

**セレクト乳剤**  
**アリスタ ライフサイエンス株式会社**

火災の場合：

消火に粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火薬剤、砂などを使用すること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

漏出物を回収すること。

**【保管】**

涼しい所又は換気の良い場所で保管すること。

施錠して保管すること。

**【廃棄】**

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国・地域情報：

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

種類名：クレトジム乳剤

有効成分化学名：(±)-(2E)-[1-(3-クロロアリルオキシイミノ)プロピル]-5-(2-エチルチオプロピル)-3-ヒドロキシシクロヘキサ-2-エノン（クレトジム）  
（一般名）

成分及び含有量

成分	クレトジム	ナフタレン	1,2,4-トリメチルベンゼン	有機溶剤、界面活性剤等
含有量	24.0%	6.8%	1.2%	68.0%
化学特性（分子式）	C <sub>17</sub> H <sub>26</sub> ClNO <sub>3</sub> S	C <sub>10</sub> H <sub>8</sub>	C <sub>9</sub> H <sub>12</sub>	—
官報公示整理番号	—	(4)-311（化審法）	(3)-7（化審法）	—
CAS 番号	99129-21-2	91-20-3	95-63-6	—
化学物質管理促進法	該当しない	第1種指定化学物質 政令番号 302	第1種指定化学物質 政令番号 296	該当しない

### 4. 応急措置

飲み込んだ場合：医師の診断、手当てを受けること。

皮膚又は髪に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ、取り除き、皮膚は多量の水と石鹼で洗うこと。髪を流水、シャワーで洗うこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

取扱った後、手を洗うこと。

吸入した場合：被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静・保温に努め、医師の診断、手当てを受けること。

予想される急性症状  
及び遅発性症状 : 吸入 ; 頭痛、めまい、吐き気、嘔吐  
皮膚 ; 刺激  
眼 ; 刺激、角膜の混濁  
経口 ; 吐き気、嘔吐

最も重要な兆候及び症状 : 情報なし  
応急処置をする者の保護 : 情報なし  
医師に対する特別注意事項 : 情報なし

## 5. 火災時の措置

消火剤 : 粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火薬剤、砂など  
使ってはならない消火剤 : 棒状注水 (飛散を避けるため)  
火災時の特定危険有害性 : 当該製品は分子中に N、S、ハロゲン含有しているため火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム (又はガス) を放出する可能性があるため、消火の際には、煙を吸入しないように注意する。  
消火を行う者の保護 : 消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。状況に応じて、呼吸保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、  
保護具及び緊急時措置 : 飛散した場所の周辺にはロープを張るなどして、人の立ち入りを禁止する。風下では作業しない。  
作業の際には保護具を着用し、飛沫などが皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。  
こぼれた場所はすべりやすいために注意する。  
漏出の処理を行う際には、必ず不浸透性手袋、ゴーグル型保護メガネまたは側板付メガネ、農薬用マスク、保護衣などを着用すること。  
環境に対する注意事項 : 漏出した物質が河川、湖沼、海域及び養殖池、植栽地、畑作地に飛散、流入しないようにする。  
回収、中和 : 少量の場合は、吸着剤 (おがくず・土・砂・ウエス等) で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。  
封じ込め及び浄化の方法・機材 : 危険でなければ漏れを止める。  
二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策 : 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。  
局所排気・  
全体換気 : 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。  
安全取扱い  
注意事項 : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

**セレクト乳剤**  
**アリスタ ライフサイエンス株式会社**

使用前に使用説明書を入手すること。  
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。  
飲み込まないこと。  
取扱い後はよく手を洗うこと。

接触回避 : 『10. 安定性及び反応性』を参照。  
保管 技術的対策 : 消防法の規制に従う。  
混触危険物質 : 強酸化剤  
保管条件 : 涼しい所及び換気の良い場所で保管すること。  
施錠して保管すること。  
容器包装材料 : 情報なし

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 : 未設定  
許容濃度  
日本産業衛生学会 : 未設定  
ACGIH TLV : 未設定  
設備対策 : 防爆の電気・換気・照明機器を使用すること。  
ばく露を防止するため、装置の密閉化又は局所排気装置を設置すること。  
この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。  
保護具  
呼吸器用の保護具 : 農薬用マスク  
手の保護具 : 不浸透性手袋  
眼の保護具 : ゴーグル型メガネ又は側板付メガネ  
皮膚及び身体の保護具 : 長ズボン、長袖保護衣、長靴、ゴム製前掛け  
衛生対策 : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
取扱い後はよく手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態 形状 : 澄明可乳化油状液体  
色 : 黄赤色  
pH : 4.8  
引火点 : 58.6℃ (タグ密閉式)  
自然発火温度 : 情報なし  
燃焼性 (固体、ガス) : 常温で液体  
爆発範囲 : 情報なし  
比重 : 0.96 (20℃)  
溶解度 : 水に乳化  
その他の情報 : 特になし

**10. 安定性及び反応性**

安定性 : 法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。  
 危険有害反応可能性 : 情報なし  
 避けるべき条件 : 火気  
 混触危険物質 : 情報なし  
 危険有害な分解生成物 : 通常の条件下では生成しない。

**11. 有害性情報**

急性毒性 経口 : ラット LD<sub>50</sub> 値 : 雄 ; 3,610mg/kg、雌 ; 2,920mg/kg (1987 年)  
 マウス LD<sub>50</sub> 値 : 雄 ; 3,490mg/kg、雌 ; 3,090mg/kg (1995 年)  
 経皮 : ウサギ LD<sub>50</sub> 値 : 雌雄 ; >5,000 mg/kg (1986 年)  
 吸入 : 吸入 (ガス) : 常温で液体  
 吸入 (蒸気) : 常温で液体  
 吸入 (ミスト) : ラット LC<sub>50</sub> 値 : 雌雄 ; >5.4mg/L (1986 年)  
 皮膚腐食性・刺激性 : ウサギを用いた皮膚刺激性試験において、中等度の刺激性あり (1986 年)。  
 眼に対する重篤な損傷・刺激性 : ウサギを用いた眼刺激性試験において、中等度の刺激性あり (1986 年)。  
 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 呼吸器感作性 : 情報なし  
 皮膚感作性 : モルモットを用いた Buehler 変法において、陰性 (1986 年)。  
 生殖細胞変異原性 : 情報なし。  
 発がん性 : 発がん性の恐れ (ナフタレン : IARC でグループ 2B)  
 生殖毒性 : 情報なし。  
 特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露) : ヒトで溶血性貧血が認められた (ナフタレン)。  
 ウサギを用いた単回経口投与試験において、白内障発現が認められた (ナフタレン)。  
 特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露) : 長期又は反復ばく露により血液、眼、鼻の障害の恐れ (ナフタレン)。  
 長期又は反復ばく露により中枢神経系、肺の障害の恐れ (1,2,4-トリメチルベンゼン)。  
 吸引性呼吸器有害性 : 情報なし。

**12. 環境影響情報**

水生環境 急性有害性 : 魚類 (コイ) : LC<sub>50</sub> (96 時間) ; 14mg/L (1994 年)  
 甲殻類 (オオミジンコ) : EC<sub>50</sub> (48 時間) ; 23.9mg/L (1990 年)  
 藻類 (72 時間) : E<sub>r</sub>C<sub>50</sub> 107mg/L (1991 年)  
 水生環境 慢性有害性 : 長期的影響により水生生物に強い毒性 (ナフタレン)。

**セレクト乳剤**  
**アリスタ ライフサイエンス株式会社**

**1 3. 廃棄上の注意**

- 残余廃棄物 : 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。  
廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
- 汚染容器及び包装 : 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。  
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

**1 4. 輸送上の注意**

- 国際規制
- IMDG Code : ハザードクラス 3 (FLAMMABLE LIQUIDS) Packing Group III
- ICAO/IATA : Same as above
- 国連分類 : 3 (Flammable Liquids)
- 国連番号 : 1993 (Flammable Liquid, N.O.S.)
- 国内規制 : 『1 5. 適用法令』の項を参照の上、規定の積載方法、容器等によって輸送する。
- 輸送の特定の安全対策及び条件 : 包装、容器が破損しないように水漏れや乱暴な取扱いを避ける。火気厳禁。
- 特別安全対策 : 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。  
輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。  
重量物を上積みしない。
- 緊急時応急措置指針番号 : 128

**1 5. 適用法令**

- 農薬取締法 : 登録番号 第 22577 号
- 消防法 : 危険物第 4 類第 2 石油類 非水溶性液体 危険等級 III
- 化学物質管理促進法 : 第 1 種指定化学物質 政令番号 302; ナフタレン (6.8%)  
第 1 種指定化学物質 政令番号 296; 1,2,4-トリメチルベンゼン (1.2%)
- 労働安全衛生法 : 施行令第 18 条の 2 通知対象物質 (別表第 9)  
政令番号 408; ナフタレン、政令番号 404; トリメチルベンゼン

**1 6. その他の情報**

- 問合せ先
- 会社名 : アリスタ ライフサイエンス株式会社
- 住所 : 東京都中央区明石町 8 番 1 号
- 担当部門 : 日本/中・東欧事業部門 MSDS 担当
- 電話番号 : 03-3547-4673
- FAX 番号 : 03-3547-4695

中毒 110 番 : 公益財団法人 日本中毒情報センター

事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る

中毒 110 番	一般市民専用電話 情報提供料無料	医療機関専用電話 (1 件につき 2,000 円)
大阪 (365 日、24 時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9~21 時対応)	029-852-9999	029-851-9999

製品安全データシートは、化学製品を安全に取り扱うための参考資料として、当該化学製品を取り扱う事業者提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。

この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品（当該製品）に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取り扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取り扱う事業者は、個々の取扱い等の実状に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この製品安全データシートを活用されるようお願いいたします。